



栗田学区で 安全性の向上が進んでいます！

早速！

北木之元町 トンネル路地が耐震・防火改修で安全になりました！

東大路通と商店街の間にある北木之元町の入口がトンネル状になった袋路。トンネル部分が老朽化していましたが、柱と梁の耐震補強、天井部分の防火などの改修工事が2月に完成し、地震にも火事にも強くなりました。

前

後

天井の防火改修

夜も明るく

梁の補強

この制度を活用しました！

袋路始端部における耐震・防火改修事業

補助額：最大 80 万円～ 250 万円（全額補助）
 問合せ：京都市都市計画局まち再生・創造推進室
 電 話：075-222-3503
 ※今回は袋路等の入口のトンネル部分の耐震・防火改修工事に活用（上限 150 万円）

柱の補強

栗田口三条坊町中部 道路の浸水を防ぐ、雨水マスが設置されました！

神宮道と元白川小学校（元栗田小学校）南側の通りとの交差部。昨年7月の防災まちあるきでは、「大雨のとき水があふれて危険」とゲリラ豪雨等での道路の浸水が懸念されていましたが、京都市上下水道局に対応していただき、雨水マスが増設され排水性能が高まりました。

雨水の流れ

雨水の流れ

第3回 防災まちあるき

次回告知

第3回防災まちあるきを以下の日程、内容で開催します。ぜひ、ご参加ください。

問い合わせ：白川まちづくり協議会事務局 TEL:075-752-3123

5月30日（日）9：00～

集合場所：プレハブ会館

第4ブロック

土居之内町、八軒町、堤町、梅宮町北部・南部

栗田学区 防災まちづくりニュース

発行：栗田自治連合会・栗田自主防災会・白川まちづくり協議会
 協力：京都市都市計画局 まち再生・創造推進室 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

第2号
令和3年
4月発行

昨年4月にスタートした栗田学区の「防災まちづくり」。新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、六原学区への視察、防災まちあるきを行い、話し合いを重ね、安全性の向上にもつながりました。

栗田学区は、幅の狭い道路や袋路（行き止まり路地）が多く、災害時に建物の倒壊などにより、避難や救助に時間がかかったり、近隣へ燃え広がるなどの被害が生じる可能性があります。防災まちあるきでは、実際に学区内を歩いて現状を確認し、地域の資源や防災上の課題、共有しておくべき情報や、今後の対策について、意見交換を行いました。参加者アンケートでは「町内の危険なところが確認できてよかった」「住民どうしのコミュニケーションのきっかけになり、防災力の向上にもつながると思う」などのご意見をいただくことができました。また、最後のページの写真のとおり、トンネル路地の耐震補強や防火改修、雨水マスの増設など、目に見える成果が早々に生じ、防災上の課題解消につながりました。

課題と資源を知る

防災まちあるき

解決策を話し合う

話し合い

安全なまちづくりに取り組む

安全性の向上

さらなる安全性の向上、学区全体の防災まちづくり計画策定へ

九条山側から順に取り組んできた2回の防災まちあるき。学区全体の半分程度を終えることができました。今後は、残りの町内の防災まちあるきを実施し、防災まちづくり計画の策定に向けてワークショップや意見交換会を開催する予定です。皆様のご協力のもと、栗田自治連合会、栗田自主防災会、白川まちづくり協議会が連携し、行政、まちセン、専門家などの協力も得ながら取り組みます。

スケジュール（予定）

※ 新型コロナウイルス感染症等の状況により変更となる場合があります。

令和2年 10月3日	11月29日	令和3年 5月30日	夏	秋	冬
第1回防災まちあるき （第1・3ブロック）	第2回防災まちあるき （第2・5ブロック）	第3回防災まちあるき （第4ブロック）	第4回防災まちあるき （第6・7ブロック）	ワークショップ・意見交換会 防災まちづくり計画策定	策定に向けた話し合い 防災まちづくり計画

防災まちづくり計画策定

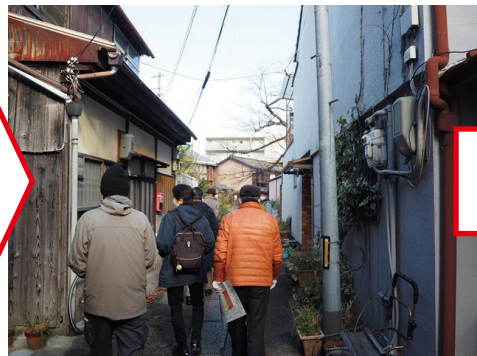
第2回 防災まちあるき開催！

11月29日（日）学区内の8つのブロックのうち、第2、第5ブロックを対象に第2回防災まちあるきを開催。自治連合会、自主防災会、白川まちづくり協議会、そして、対象ブロックの町内会長など約20名が参加しました。

京都市から「密集市街地」の災害時の危険性とその対策、助成制度についての説明を受けた後、2つのブロックにわかれてまちを点検。路地の行き止まりや道幅、地域内の課題箇所などを確認し、情報共有しました。一方、京町家の連なる街並みや白川沿いの落ち着いた景観については、残したい街並みであることを確認。終了後は、お住まいの方の意見を交えて、ブロックごとに結果報告と今後の進め方を共有しました。



市から密集市街地の防災対策について説明



路地などまちを隅々まで確認



ブロックごとに結果報告

第2ブロック

柚之木・定法寺町、堀池町、西町、夷町を順に歩き、ブロック塀、トンネル路地、地域の集合場所、雰囲気の良い街並みなどを確認し、安全対策について話し合いました。



第5ブロック

大井手町、石泉院町、東姉小路町、分木町、今小路町、西海子町を順に歩き、トンネル路地、ブロック塀、避難経路などを確認し、安全対策について話し合いました。



参加者アンケートからの主な意見・感想

- ・日頃、自分が住んでいる町内以外の路地を見ることがないので有意義でした。
- ・現在の状況を住民の方から教えてもらいながら歩けたため、地元の理解が深まった。
- ・長年住んでいる「まち」をあらためて防災という観点で見ることができた。
- ・防災も含め、住民どうしのコミュニケーションの活性化につながった。その事が防災力の向上になると思う。
- ・知らない町内の人に教える為に参加したい。
- ・別の町内も見たい。
- ・新築マンション、ホテル、民泊などが増え、町の景観が変わってゆくことを残念に思っていたが、防災の観点から見ると、ずいぶん良いこともあると感じた。

防災まちあるきを通じて見えてきた3つの課題

2度の防災まちあるきを通じて、当学区には幅の狭い路地が多く、これらの路地は、災害時には住民の命を守る避難経路となることをあらためて確認することができました。意見交換の中では、粟田学区では、以下の3点が多く見られる課題との指摘が共有されました。もしものときに備え、路地を再点検して、適正管理につとめましょう！

